

【記入例】

必ず、全て消せないインク(ボールペン)で記入してください。

家計急変

第1号の2様式(第5条関係)

京都府奨学のための給付金申請書

令和5年 7月 20日

京都府知事 様

・申請書を記入した年月日を記入してください。

京都府奨学のための給付金支給要綱に基づき、給付金の受給を申請します。

- この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
 - この申請書に虚偽の記載があった場合は、京都府の求めに従いその全額を即時返還します。
 - 私は京都府以外の都道府県に奨学のための給付金の申請は行っていません。
 - この申請の対象となる高校生等は、児童福祉法による児童入所施設措置費のうち見学旅行費又は特別育成費のいずれについても支弁対象となっておりません。
- ※ 上記の4点(母子生活支援施設に入所している高校生等については、上記のうち上から3点)を確認の上、
□に✓点を付けてください。

・必ずすべての項目を確認し、チェック「✓」してください。

1 申請者に関する事項

・申請者(保護者等)の氏名を記載してください。

フリガナ	キョウト タロウ	生徒との続柄	父・母 その他()	連絡先電話番号
申請者氏名	京都 太郎			自宅 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
申請者住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 〇〇番地〇	携帯 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇		
		E-mailアドレス		
		****@***.com		

・住所は建物名、号室まで記入してください。

2 生徒に関する事項

・連絡先電話番号は必ず記入してください。

フリガナ	キョウト ジロウ	生年月日	平成〇〇 年 〇 月 〇 日
氏名	京都 二郎		
在学する学校	フリガナ	〇〇コウトウガッコウ	
	学校の名称	国立・公立 (私立) 〇〇高等学校	
	課程	<input type="checkbox"/> 全日制 <input type="checkbox"/> 定時制 <input checked="" type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科	学年等
高等学校等における在学期間	上記の学校	令和5年 4月 1日 ～ 在学中	在学中に給付金を受給した回数 なし <input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/>
	学校名 立		

・該当する課程に必ずチェック「✓」してください。

・在籍している学校に在籍を開始した日付を記入してください。
・在学中に給付金を受給した回数をチェック「✓」してください。
不明の場合は「不明」にチェック「✓」してください。
・前籍校がある場合にも正確に記入してください。

3 保護者等に関する事項

申請者を含む生徒の保護者等主員の氏名、続柄及び住所を記入してください。

フリガナ	生徒との続柄	住所
氏名		
キョウト タロウ	父・母 その他()	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者住所と同じため、記入を省略します。
京都 太郎		
キョウト ハナコ	父・母 その他()	
京都 花子		

・保護者が2名いる世帯の場合、申請者以外の保護者を必ず記入してください。
・住所欄については、「1 申請者に関する事項」に記載した住所と同じであれば、チェック「✓」して記入を省略できます。

保護者等の住所が京都府外である場合、その理由を記入してください。 記入例：父単身赴任中のため など
なお、保護者等のうち、お一人でも海外在住の場合は、給付金の支給の対象外となる場合があります。

保護者等の住所が京都府外である理由	・該当する場合には記入してください。
-------------------	--------------------

4 生活保護受給の有無 次のとおり

- (1) 私(申請者)の世帯は、令和5年度の課税証明書が提出されていない場合、令和5年度の課税証明書を提出してください。
- (2) 私(申請者)の世帯は、基準日において、生活保護法第36条の規定による生業扶助を受給していません。

生活保護(生業扶助)を受給していない場合、(2)にチェックの上、令和5年度の課税証明書を提出してください。

注 1 (1)の場合は、生活保護受給証明書を添付してください。
 注 2 基準日とは、当該家計の急激な変動が、申請年度の7月1日以前に生じたものであるときは7月1日を、その後に生じたものであるときはその生じた日を、それぞれいいます。

5 保護者等に扶養されている15歳以上23歳未満の兄弟姉妹(中学生を除く。)に関する事項

世帯に該当生徒の15歳以上23歳未満の兄弟姉妹(申請年度の基準日現在、該当生徒と同じ保護者等に扶養されている者で中学生でないものに限る。)がいる場合は、次の表にその者の氏名等を記入し、その者の「健康保険証の写し」を添付してください。

なお、生活保護(生業扶助)受給世帯の場合は、該当する者がいても記入不要です。

続柄 (兄・姉・弟・妹)	フリガナ	生年月日	高等学校等の名称を記入し、該当する課程の□にレ点を付けてください。	
	氏名		高等学校等の名称	課程
兄	キョウト イチロウ	平成〇年 〇月 〇日	□県立△△高等学校	<input type="checkbox"/> 高校生等(通信制、専攻科) <input checked="" type="checkbox"/> 高校生等(通信制及び専攻科以外) <input type="checkbox"/> 高校生等でない
	京都 一郎			<input type="checkbox"/> 高校生等(通信制、専攻科以外) <input type="checkbox"/> 高校生等でない
		年 月 日		<input type="checkbox"/> 高校生等(通信制、専攻科) <input type="checkbox"/> 高校生等(通信制及び専攻科以外) <input type="checkbox"/> 高校生等でない
		年 月 日		<input type="checkbox"/> 高校生等(通信制、専攻科) <input type="checkbox"/> 高校生等(通信制及び専攻科以外) <input type="checkbox"/> 高校生等でない
		年 月 日		<input type="checkbox"/> 高校生等(通信制、専攻科) <input type="checkbox"/> 高校生等(通信制及び専攻科以外) <input type="checkbox"/> 高校生等でない
		年 月 日		<input type="checkbox"/> 高校生等(通信制、専攻科) <input type="checkbox"/> 高校生等(通信制及び専攻科以外) <input type="checkbox"/> 高校生等でない

【!】特にチェック誤りの多い箇所です。よく確認してチェックしてください。

**・15歳以上23歳未満の兄弟姉妹がいる場合、記入してください。
 ※記入した兄弟姉妹の分の、健康保険証のコピーの添付が必要です。**

注 1 15歳未満の者又は就労等を理由に扶養されていない者は、記入は不要です。
 2 続柄は、対象の高校生等からみた続柄を記入してください。
 3 学校名は、申請年度の基準日現在の状況を記入してください。
 4 該当する者がいない場合は、その欄を空白のままにしてください。

・提出する課税証明書に、控除対象配偶者(同一生計配偶者)であることが分かる記載がある場合、(1)にチェックの上、控除対象配偶者の氏名を記入すれば、当該控除対象配偶者の課税証明書の添付が省略できます。

6 所得の状況等に関する確認事項 該当する項目の□にレ点を付けてください。

- (1) 控除対象配偶者(氏名 **京都 花子**)は、昨年の収入が100万円以下ですので、当該年度の道府県民税所得割及び市町村民税所得割は課税されていません。→該当する場合は、控除対象配偶者の課税証明書等の提出は不要です。
- (2) 保護者等は、私(氏名) 1人です。
- (3) 保護者等のうち1人は、京都府外(他府県)に居住していますが、世帯の生活本拠は京都府にあるため、他の都道府県には、奨学のための給付金を申請しません。

・該当する場合、チェックの上、氏名を記入してください。

・該当する場合、チェックしてください。

7 申請内容等に関する個人情報を京都府が活用することについての同意

知事が、奨学のための給付金の給付に関して、京都府のその他の給付金等との併給調整に当たり、奨学のための給付金の申請内容等に関する個人情報を当該個人情報の利用目的以外の目的で利用し、又は京都府教育委員会に提供することに同意する場合は、下記に署名してください。

京都府奨学のための給付金支給要綱第1条に規定する給付金（以下「給付金」という。）と次に掲げる同種の資金との併給調整に当たり、給付金の申請書及び添付書類に含まれる個人情報を、知事が当該個人情報の利用目的以外の目的で利用し、又は京都府教育委員会に提供することに同意します。

(1) 京都府高等学校定時制課程（昭和49年京都府告示第136号）第2条に規定する修学資金
(2) 京都府高等学校等修学資金（昭和49年京都府告示第241号）第1に規定する修学資金
(3) 交通遺児奨学金等支給要綱（昭和44年京都府告示第136号）第1に規定する奨学金等
(4) 母子家庭奨学金等支給要綱（昭和49年京都府告示第241号）第1に規定する奨学金等
(5) 京都府高校生給付型奨学金等支給要綱（昭和51年京都府告示第174号）第1に規定する奨学金等

**・同意する場合、「申請者氏名」欄に申請者が署名してください。
※基準日時点で生徒が18歳以上の場合には、「生徒氏名」欄に生徒の署名も必要です。**

申請者氏名
生徒氏名

※ 上記2に記載する生徒が成年の場合は、当該生徒も署名をしてください。

8 在学状況等に関する証明（申請年度の基準日に在学する学校の校長による証明を受けてください。）

1 この申請に係る生徒は、
2 この申請に係る生徒に関する
3 本校は、高等学校等就学
4 この申請に係る生徒は、
を有する者です。

以上、証明します。

年 月 日

**・学校が記入する欄です。
※「8 在学状況等に関する証明」欄に記入せず、別途、在学証明書を作成し、添付することも可能ですが、基準日時点で在学していることが在学証明書から読み取れることが必要です。**

学校の所在地
学 校 名
校 長 名
印

・家計急変が起きた日を記入してください。
 ※令和5年度の、京都府奨学のための給付金 家計急変世帯への支援 の
 審査の対象となるのは、
 令和5年1月1日以降に家計の急激な変動があったご世帯です。

9 家計の急激な変動について

家計の急激な変動が生じた日	令和5年6月2日
家計の急激な変動の理由	父が負傷により就業困難となったため。
※ 今回の申請は、家計の急激な変動により住民税所得割非課税相当に減収が見込まれることによる申請ですので、申請後、支給決定までの間に収入が増額となる等、状況に変更があった場合直ちに申し出てください。	

・家計急変の事由を記入してください。

10 給付金の振込口座

口座振込先					
〇〇	銀行 金庫	〇〇	本店 支店 出張所	預金種別	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座
口座番号	フリガナ 口座名義人		金融機関コード ※記入不要		
* * * * *	キョウト	タロウ			
	姓 京都	名 太郎			

注 1 口座振込先については、原則として申請者が開設する口座を記入してください。やむを得ず申請者以外の者が開設する口座を振込先とする場合は、委任状を添付してください。
 2 上記の情報が分かる振込口座の通帳の写しを添付してください。

<振込先口座の通帳の写しをこちらに貼り付けてください。>
 ※金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義人（フリガナ）が記載されているページを貼り付けてください。

・原則、申請者が開設する口座を記入してください。
 やむを得ず、申請者以外が開設する口座を振込先とする場合には、委任状の提出が必要になります。

・上記に記入した口座の通帳のコピーを添付してください。

家計急変

次の(1)・(2)の方の健康保険証コピーを貼り付けてください。

- (1) 保護者等
- (2) (1)に扶養されている扶養親族全員分(申請書2に記載の高校生を含む。)

健康保険証コピー 貼付台紙

申請者氏名
(保護者等)

貼付欄

申請者氏名を記入してください。

貼付①

貼付②

保護者の方及び
保護者等に扶養されている扶養親族の方全員分の
保険証のコピーを貼り付けてください。

- ・被保険者等記号・番号等の記載がある場合は、マスキングをした上、提出してください。
- ・有効期限、氏名等の記載事項が見えるようにコピーしてください。

貼付⑤

貼付⑥

貼付⑦

貼付⑧

国民健康保険証を貼り付けた場合は、裏面の「扶養申立書」も御記入ください。

家計急変

国民健康保険証のコピーを提出する場合、ご記入ください。
裏面の「健康保険証コピー貼付台紙」とあわせてご提出ください。

※ 国民健康保険加入者は、健康保険上の扶養関係が確認できないため、
当該扶養親族を扶養している場合は、必ずこの用紙を提出してください。

年 月 日

京 都 府 知 事 様

〒

申請者住所
(保護者等)

申請者氏名
(保護者等)

扶 養 申 立 書

私(申請者(保護者等))が主として下記の者を扶養していることを申し立てます。

記

フリガナ 氏 名	生年月日	住 所
	生年月日 年 月 日	<input type="checkbox"/> 申請者と同住所のため記入を省略します。 〒 -
	生年月日 年 月 日	<input type="checkbox"/> 申請者と同住所のため記入を省略します。 〒 -
	生年月日 年 月 日	<input type="checkbox"/> 申請者と同住所のため記入を省略します。 〒 -
	生年月日 年 月 日	<input type="checkbox"/> 申請者と同住所のため記入を省略します。 〒 -
	生年月日 年 月 日	<input type="checkbox"/> 申請者と同住所のため記入を省略します。 〒 -
	生年月日 年 月 日	<input type="checkbox"/> 申請者と同住所のため記入を省略します。 〒 -
	生年月日 年 月 日	<input type="checkbox"/> 申請者と同住所のため記入を省略します。 〒 -
	生年月日 年 月 日	<input type="checkbox"/> 申請者と同住所のため記入を省略します。 〒 -
	生年月日 年 月 日	<input type="checkbox"/> 申請者と同住所のため記入を省略します。 〒 -

氏名、生年月日、住所を忘れず記入してください。

本紙は専攻科に在籍する方のみ提出してください。

家計急変

記入してください。

個人対象要件証明書（専攻科のみ）

下記の者は、令和 年 月 日（基準日）現在、以下のとおりであることを証明します。

生徒氏名	<small>(ふりがな)</small>			
	姓	全ての項目について記入してください。		
学校名 課程・学科等名			学 年	

（該当する方に✓をすること）

- 以下のア～ウのいずれにも該当しません。
- 以下のア～ウのいずれかに該当します。（ア～ウのうち該当するものに○を付すこと）

- ア 退学、停学（三か月以上）の処分を受けた者
- イ 前年度における習得単位数が当校の定める当該年度の標準習得単位数の5割以下の者
- ウ 前年度における出席率が5割以下の者

よく確認して正確に記入してください。

※ア～ウのいずれかに該当する者で、災害、疾病その他のやむを得ない事由がある場合は、以下に具体的な状況を記載すること。

学校による証明欄です。

令和 年 月 日

学校名
校長名 印

※振込口座は、基本的に、申請者のものになります。

やむをえず申請者の口座を利用できない場合のみ、本紙を記入することで、別の口座に振り込むことができます。

年 月 日

京都府知事 様

京都府奨学のための給付金受領委任状

振込先口座の名義人を記入してください。

私は、① _____ を代理人と定め、京都府奨学のための給付金の受領に関する一切の権限を委任します。

フリガナ	
申請者の氏名	
申請者の住所	〒 _____

フリガナ	
生徒の氏名	
フリガナ	
学校名	
課程 (あてはまるものに○をつける)	全日制・定時制・通信制・専攻科
学年等	年 組 番

全ての項目について記入してください。

※ 記入の注意

- ①に、振込みを希望する口座名義人の氏名を記入してください。
全ての項目に、記入してください。
間違えた場合、二重線をひき、修正してください。

年間収支見込計算書

家計急変

家計急変時点から1年間

〒
 申請者住所 記入してください。
 申請者氏名 _____

令和 年 月 ~ 月分

※ 家計急変後1年間の所得見込を換算して記入して下さい。

科目		金額 (円)
収入	① 売上金額	***, ***
	② その他の収入	***
	③ 収入合計(①+②)	***, ***
売上原価	④ 期首商品棚卸高	*, ***
	⑤ 仕入金額	***, ***
	⑥ 期末商品棚卸高	*, ***
	⑦ 売上原価(④+⑤-⑥)	***, ***
	a 給料賃金	
	b 外注工賃	

← 直近3ヶ月の平均売上額×4の金額を記入してください。
 ← ①以外の収入がある場合は、記入してください。

税理士又は公認会計士以外が証明書を作成した場合、
 経営不振の事由により公共的団体から融資等を受けていることが確認できる書類の提出が併せて必要になります。

経費	g 租税公課	
	h 荷造運賃	
	i 水道光熱費	
	j 旅費交通費	
	k 通信費	*, ***
	l 広告宣伝費	
	m 接待交際費	
	n 損害保険料	
	o 修繕費	
	p 消耗品費	
	q 福利厚生費	

売上原価④～⑥及び経費a～sについては、確定申告時に提出する「収支内訳書」の記入方法を参考に記入してください。

税理士又は公認会計士が本紙を使用して証明する場合、作成者欄の記入に加え、
 証明印の押印をお願いします。

		*, ***
所得	⑨ 所得金額(③-⑦-⑧)	***, ***

作成日: 令和 年 月 日
 作成者(氏名) 記入してください。